

露地栽培で裂果が少なく高品質果実の生産が可能な 夏秋トマトの大玉品種「麗月」

山梨県の中山間地から高冷地では、夏秋トマトの栽培が盛んに行われてきましたが、高齢化による規模縮小等により生産量が大きく減少しています。また、天候不順等により、簡易雨よけを設置しても、裂果が発生し果実品質が低下することに悩まされています。そこで、山梨県総合農業技術センター・高冷地野菜花き振興センターでは、硬玉で裂果が少なく安定した品質・収量が維持できる大玉トマト品種「麗月」を選定しましたので、その概要を紹介します。

☆ 技術の概要

1. 品種「麗月」を用いると、A品収量 7t/10a、A品率 60%、可販収量 8t/10a 程度を期待できます（表1）。
2. 「麗月」は夏季高温期（2018年7～8月）、秋雨期（2018年9月）でも裂果が極めて少なく、A品収量も多くなります（図1）。
3. 「麗月」の食味および糖度は「桃太郎8」と比較して差は認められず、同等です。
4. 「麗月」の8段果房の高さは約170cmで、「麗夏」および「りんか409」と同程度であり、収量性や作業性も同等といえます。

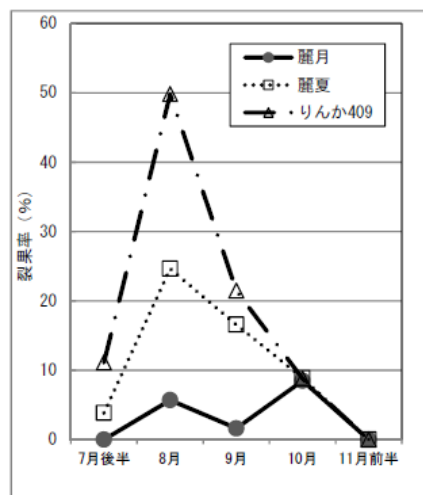


図1 裂果率の推移 (2018年)

表1 果実品質および収量²⁾(2018年)

品種	A品重量	B品重量	規格外重量	総重量	A品率	総裂果率	A品1果重
	(kg/10a)				(%)		(g)
麗月	7,134	1,405	3,557	12,096	59.0	6.0	180
麗夏	4,173	1,982	4,242	10,397	40.1	20.3	189
りんか409	3,395	1,509	6,492	11,396	29.8	36.6	192

2) A品:虫害、障害等が無く110g以上のもの B品:110g以上で軽微な傷等のあるもの 規格外:出荷不能な規格外のもの

☆ 活用面での留意点

1. 「麗月」は多くの病害抵抗性を備えた品種ですが、長雨や台風後は病気の発生が懸念されるため、適正な防除体系で栽培する必要があります
2. 試験は北杜市明野町の標高747m（高冷地野菜・花き振興センター）で行いました。
3. 詳しいことは、山梨県総合農業技術センター・高冷地野菜花き振興センター（TEL: 0551-25-6201）へ、お問合せください。

（日本政策金融公庫農林水産事業本部 テクニカルアドバイザー 吉岡 宏）